

館長 (特命准教授)	伏見 裕利	Curator	Hirotooshi Fushimi (Ph.D.)
技能補佐員	出口 鳴美	Associate Professor	
		Research Assistant	Narumi Deguchi

◇目的

世界の諸民族の伝統薬物を蒐集、保存、展示するとともに、それらの学術情報を収載したデータベースを構築し、伝統薬物に関する共同研究を推進する。

◇活動概要

I) 民族薬物データベース (ETHMEDmmm) の構築

当資料館には、和漢薬、アーユルヴェーダ生薬、ユナニー生薬、タイ生薬、インドネシア生薬、チベット生薬など約 28,500 点の生薬標本が保存されている。これらに関するデータベース (以下、DB) について順次、生薬標本情報並びに学術情報を更新、整理している。

今年度は、和漢薬 DB の学術情報 272 種類について、伝統的薬能区分である「性味」、「帰経」、「効能」、「主治」を中国薬典 2015 年版より抜粋し追記した (日・英)。

II) 薬草古典データベースの構築

中国薬草古典「証類本草」データベース：『証類本草』に収載されている生薬 5 品目の翻訳を行った。

III) 生薬標本の「二次元バーコード」化

当資料館に保存されている生薬標本の内、ユナニー生薬、ベトナム生薬など計 1,000 点について、保管場所情報を示す二次元バーコードのシールを添付すると共に、データベースに登録した。

IV) 「民族薬物資料館」ニュースレターの刊行

当資料館内部の展示物などを紹介したニュースレター (第 15~18 号) を刊行した。

V) 「ひらめき☆ときめきサイエンス事業」の実施

日本学術振興会助成事業による「ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~KAKENHI~」として、平成 28 年 8 月 7 日 (日) に民族薬物資料館で中学生・高校生を対象とした和漢薬体験プログラム「和漢薬ってこんなに身近にあったんだ! ~五感を使って和漢薬体験~」を実施した。参加者は 23 名 (高校生 15 名, 中学生 8 名)。

VI) 古典籍を活用した和漢薬に関する総合研究

江戸時代の古典籍『広恵濟急方』に収載されている疾病と使用されている生薬約 300 種について、現代語に訳したものを MS アクセスファイルにまとめた。

VII) 一般公開

第 29 回民族薬物資料館一般公開：平成 28 年 5 月 29 日 (午前 10 時~午後 4 時)

1 日 3 回各 1 時間、反魂丹に配合される生薬を中心に解説を行った。来館者は 37 名。

第30回民族薬物資料館一般公開：平成28年8月5日（午前10時～午後4時）

1日3回各1時間。午前中は富山大学男女共同参画推進室による学童保育参加者を招いて、主に小学生以下を対象としたクイズラリー形式の参加型説明会「夏休み薬草探検－薬草博士になろう！－」を行った。午後の部は、通常の資料館案内を行った。来館者は40名。

第31回民族薬物資料館一般公開：平成28年10月23日（午前10時～午後4時）

1日2回各1時間、資料館内を案内すると共に、チベット医学の四部医典タンカを紹介した。さらに東洋医学講座として、薬剤師でありチベット医でもある小川康氏による「チベット医学の世界に学ぶ日々の養生法」を開催した。来館者は71名。

◇著書

- 1) 伏見裕利：明治期に誕生した薬学校，富山大学薬学部．薬学史事典，各論61，薬事日報社，東京，2016，p.250-251.
- 2) 伏見裕利：スタンダード薬学シリーズⅡ 3，日本薬学会編，化学系薬学Ⅲ，自然が生み出す薬物．株式会社東京化学同人，東京，2016，p.76-78.

◇原著論文

- 1) Nagata T., Win N., Long LX., Miwa T., Okumura T., Fushimi H., Morita H. and Shimada Y.: Anti-cancer Effect of *Saxifraga stolonifera* Meerb. Clin. Exp. Pharmacol., 6,1-5, 2016.

◇その他

- 1) 伏見裕利：講演「繁用生薬の紹介と各種本草書の記載」．平成28年度第1回漢方医学と生薬講座，NPO法人富山のくすし，2016,4,23，富山．
- 2) 伏見裕利：賢瓶に納入されている五薬と鬼との関係（その4）．霊宝館だより第118号，2016,5,9，高野山霊宝館．
- 3) 伏見裕利：講演「民族薬物資料館に保存・蒐集されている生薬の紹介、及び、高野山から発掘された賢瓶に納まる五薬と鬼との関係性についての考察」．富山薬窓会，2016,7,2，富山．
- 4) 伏見裕利：講演「生薬基原鑑定技術の動向」．アルプス薬品工業株式会社，2016,7,6，高山．
- 5) 伏見裕利：丸薬づくり体験と資料館案内．第21回和漢医薬学総合研究所夏期セミナー，2016,8,9-10，富山大学．
- 6) 伏見裕利：おせちに隠された秘密．中日こどもウィークリー，283号，2016,12,31，河合塾，p.10.
- 7) 伏見裕利：古典籍を活用した和漢薬に関する総合研究の進捗状況．日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画ニューズレターふみ，第7号，国文学研究資料館，東京，2017，p.6-7.

◇共同研究

学内

- 1) 小松かつ子，梅寄雅人（和漢医薬学総合研究所）：古典籍を活用した和漢薬に関する総合研究，2015～.

国内

- 1) 川原信夫（独立行政法人医薬基盤研究所）：各種漢方処方に配合される鉱物生薬カッセキの性状，確認試験等に関する検討，2007～.
- 2) 入口敦志，岩橋清美（国文学研究資料館）：古典籍を活用した和漢薬に関する総合研究，2015～.

◇研究費取得状況

- 1) 日本学術振興会主催，ひらめき☆ときめきサイエンス，和漢薬体験プログラム「和漢薬ってこんなに身近にあったんだ」，34万。

◇記録

I) 見学者 (2016年4月1日～2017年3月31日)

来館者総数： 994名 (日本人 916名，外国人 78名)

案内総回数： 73回 (日本人 61回，外国人 12回)

外国人の国名(人数) タイ(40)，ミャンマー(18)，韓国(7)，中国(6)，モンゴル(3)，エジプト，インド，アメリカ，インドネシア(各1)

主な来館者の所属先 【海外】タイ (コンケン大学，ウボンラーチャタニ大学他)，ミャンマー (保健・スポーツ省他)，韓国 (ソウル大学他)，中国 (中国大使館他)，他

【国内】文部科学省，日本学術振興会，国立医薬品食品衛生研究所，ヒューマンサイエンス振興財団，自然科学研究機構，国公私立大学13校，富山県立いずみ高校，石川県立田鶴浜高校，富山県立富山東高校，富山県立高岡南高校，富山県立魚津高校，富山市民大学講座，富山県，富山市，他

II) 民族薬物データベース (2016年4月1日～2017年3月31日)

アクセス数： 20,045件

専門検索アクセス数： 4,198件 (日本語 2,285件，英語 1,913件)

専門検索登録者数： 16名 (日本語 15名，英語 1名) (全 1,574名)

一般検索アクセス数： 4,623件 (日本語 2,538件，英語 2,085件)

III) 証類本草データベース (2016年4月1日～2017年3月31日)

アクセス数： 1,493件 (試用版 770件)

専門検索登録者数： 24名 (全 335名)